

第5学年2組 学級活動（3）指導案

令和7年9月12日（金）

第5校時(13:45～14:30)

荒川区立峡田小学校

研究主題

自分のよさや可能性に気付く子の育成 ～受容的、肯定的な対話と友達との関わりを通して～

1 題材名 「広げよう！深めよう！自主学習の取り組み方」

（ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用）

2 題材について

（1）児童の実態

学級活動(3)の学習では、「5年生になって」「運動会のめあてをたてよう」を題材とし、「キャリア・パスポート」を活用しながら、5年生としてなりたい自分の姿や運動会での係活動を通して、友達や学校のために働いたり、よりよい学校行事にするにはどうしたらよいのか考えたりする児童が増えてきた。めあてを立てて活動し、振り返りをする学習を重ねることで、自身の成長や変容を感じている児童の記述が見られた。

（2）題材設定の理由

峡田小学校では、全員一律で同じ課題を与える宿題ではなく、自らの意思で学習内容を決めて取り組む自主学習を実施している。興味のあるテーマや自分に必要な学習を自分で設定し、計画・実行・振り返りを行うことで、自分なりの「学ぶ楽しさ」を体験し、学び続ける姿勢を育てることを目的として取り組んでおり、5年生は毎日50分間取り組むことを目標にしている。

5年生の1学期の様子では、自主学習への取り組みが十分とはいえず、学校が提示している漢字ドリルや計算ドリルのみに取り組んで終わってしまう児童が多い。自ら課題を見つけて、調べ学習を行ったり、苦手な分野を克服したりしている姿は十分とは言えない。夏休みの自主学習も学校を通して購入したドリルに取り組んだ児童は多いが、自分で考えた課題に取り組む児童は少なかった。そこで、今回の授業を通して、自分に合った学習方法や内容を工夫して意思決定することで、児童が自主学習に取り組む楽しさに気づき、子どもたちの主体的に学習する力が伸びると考え、本題材を設定した。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

| | よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
|--------------------|---|---|---|
| 第5学年 及び 第6学年 | 希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けてい | 希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。 | 現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて主体的に行動しようとしている。 |

| | | | |
|--|----|--|--|
| | る。 | | |
|--|----|--|--|

4 本単元とキャリア教育で育みたい力（高学年）

- ◎☒ **自**自分で考え、気付く力…意欲的に考え、課題や解決策、自分のよさに気付くことができる。
（自己理解・自己管理能力）
- ☒ **友**友達等と関わり、学び合う力…友達との話し合い、活動を通して自分の考えを深めることができる。
（人間関係形成・社会形成能力）

5 目標にせまるための手立て

手立て① 自主学習の取り組み方について考えさせる事前指導

自主学習についての理解を事前に深め、本時でよりよい意思決定ができるようにする。そのために、事前に高学年ブロックで連携し、キャリア・パスポートを活用して「なりたい自分」について確認したり、自主学習と宿題の違いを考えたりするよう指導した。（自分で考え、気付く力）

手立て② 自主学習の充実に向けた6年生動画の活用

これまでに気付かなかった取り組みや工夫、自主学習の意義について気付かせる。そのために、優れた取り組みをしている6年生の動画を見せることで、これまで取り組んできた自主学習と比較し、改善に向けて意欲を高める。（自分で考え、気付く力）（将来を見通す力）

手立て③ 他者参照しながら思考するICT活用

自分の考えを伝えたり、友達の考えを取り入れたりしながら意見を交流できるようにする。そのために、Google スライドの共同編集機能を活用することで、同じ班で出た考えだけでなく、他の班の考えも参考にできるようにする。（友達等と関わり、学び合う力）

手立て④ 受容的、肯定的な対話を促す教師の言葉掛け

友達の発言を大切にしたり、よりよい聞き方をしようとしたりする意欲を高める。そのために、グループ発表や全体共有では、発表した児童の考えを肯定的、受容的な言葉を選んでつなぐことで、考えを広げて深められるような言葉掛けをする。（友達等と関わり、学び合う力）

6 事前の活動

| | |
|--------------|---|
| 9月1日(月) 朝の時間 | 自主学習についてのアンケートを実施する。 |
| 9月1日(月) 3時間目 | 「なりたい自分」に向けて意識を高めるために、絵本「野球しようぜ！大谷翔平ものがたり」を図書で読み聞かせをする。 |
| 9月8日(月) 朝の時間 | これまでの自主学習の取り組み方について振り返り、どのような自主学習の内容があるか高学年ブロックで共有する。 |
| 9月9日(火) 2時間目 | 道徳「そういうものにわたしはなりたいー宮沢賢治」を学習する。 |

7 本時の活動

(1) 本時のねらい

学ぶことの意義を理解し、理想の自分に近づくための自主学習の取り組み方を決める。

(2) 本時の展開

| | | | |
|-------------------------------|---|---|---|
| | 児童の活動 | ◇指導上の留意点 | ☆評価 ★キャリア教育で育みたい力 |
| つかむ (5) | 1 アンケートを活用して、 題材を自分事として捉える。 | ◇スライドを使って、これまでにどのような自主学習に取り組んできたか振り返る。 | ☆自分たちの自主学習の取り組み方を改善し、めあてを立てようとしている。【主】 (観察・発言) |
| | 2 自主学習を主体的に取り組めていない理由について考え、本時の学習内容を知る。 | ◇学級としての自主学習の実態と傾向を知り、どんな思いで取り組んでいるのかを共有する。 | |
| なりたい自分に近づくための自主学習の取り組み方を決めよう。 | | | |
| さぐる (7) | 3 6年生の動画を活用し、自主学習の取り組み方の改善に向けて意欲を高める。 | ◇6年生からのメッセージ動画を観て、6年生が自主学習でどのような工夫をして取り組んでいるか確認する。 ◇それぞれどんな自主学習に取り組んでいるか分類し、共通していることについてまとめる。 | |
| | 4 なりたい自分に近づくために、自主学習をどのように取り組めばいいかを考え、グループで話し合う。 5 各班で話し合ったことについて共有し、さらに深めたい内容やみんなに相談したいことについて学級全体で話し合う。 | ◇キャリア・パスポートを活用し、進級した時に目指した学習面の姿を参考にし、目標を立てられるように促す。 ◇「なりたい自分」に近づくために、どんな自主学習の取り組み方があるか考え、具体的な方法や計画について話し合えるようにする。 ◇様々な自主学習の取り組み方が出せるような声掛けをする。 ◇自分の考えを伝えたり、友達の考えを取り入れたりしながら交流できるようにするため、ICT 機器を活用する。 ◇グループで交流したことを、学級全体で共有し、それぞれの自主学習の取り組みが「なりたい自分」につながっているかという視点で話し合えるようにする。 | ☆なりたい自分の姿を明確にし、そのために必要なことについて話し合っている。【思】 (観察) ★友達等と関わり、学び合う力 |
| 決める (8) | 6 自分が取り組むことを意思決定する。 | ◇これまで話し合ったことをもとに、実践可能な具体的なめあてや実践方法を決めて、ワークシートに記入する。 ◇学級での発表を聞いて、めあての修正や実践の参考にできるようにする。 | ☆これからの自主学習への取り組み方についてめあてを立て、そのために自分が実践したいことを意思決定している。【思】 (ワークシート) ★自分で考え、気付く力 |

8 研究の視点

- ① ICT 活用は他者参照しながら思考することに効果的だったか。
- ② 受容的、肯定的な対話を促す教師の言葉掛けは適切であったか。

9 事後の活動【予定】

| | |
|-----------|---|
| 9月16日(火)～ | めあてを立てた自主学習について4週間取り組み、振り返りをする。 ※意思決定した内容を更新しながら振り返りを行う。 |
|-----------|---|